|  |
| --- |
| **新しい社会 地理　検討の観点から見た内容の特色** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **観点** | **観点の内容** | **特色** |
| 内容の程度・分量 | ①全体の分量は，地理的分野の年間標準時数に対応できるように配慮されているか。また，各単元の配当時数は適切か。 | ●本文は見開き2ページ1単位時間を原則としています。目次・さくいん，巻末資料などを除いた総ページ数は276ページで，標準授業時数115時間のうち，5単位時間の予備時間を設け，柔軟な指導計画の作成が可能です。●授業時数は，第1編に13時間（第1章に7時間，第2章に6時間），第2編に39時間（第1章に10時間，第2章に29時間），第3編に57時間（第1章に6時間，第2章に11時間，第3章に35時間，第4章に5時間）を配当しており，適切な配当といえます。 |
| ②内容の程度，範囲，および文章は，生徒の発達段階から見て適切か。 | ●内容の程度，範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており，文章も敬体（ですます体）を用い，平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。●ふりがなは，教育漢字外の漢字に，見開き2ページごとに付すことを原則に，固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また，本文だけでなく，資料ごとに付すことで，ほかの箇所で読み方を確認する必要がないようにしました。 |
| 教育基本法・学習指導要領・今日的な課題への対応 | ①基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得できるように配慮されているか。 | ●見開き1単位時間の紙面を，「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧で分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで構造化し，学習内容を確実に定着できるようにしました。●地理学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を充実させ，学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。➡p.15,17,23,34,51,61,144〜145,154など●学習指導要領に示された「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から技能を活用するコーナーを設け，資料を活用する力を高められるようにしました。➡p.14,17,28,38,62,164など●本文等の抽象的な用語は，巻末の「用語解説」で解説し，基礎・基本を確実に理解できるようにしました。➡p.288〜291 |
| ②「地理的な見方・考え方」を働かせるなどして，思考力・判断力・表現力を育み，「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。 | ●各単元の導入部で，その単元で活用する「見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに，学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け，学習を深められるようにしました。➡p.7,15,20,35,41,55,61,157,163など●各見開きには，短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け，思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。●第2編第2章・第3編第3章の諸地域学習では，世界の各州・日本の各地方の学習の終結部に，「ウェビング」「トゥールミン図式」といった，多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け，思考を整理し，学びを深められるようにしました。➡p.72,86,98,112,124,136,139,194,206,218,230,242,254,266●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け，対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。➡p.13,21,24,28,43,174 |
| ③我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え，国土，歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。 | ●我が国の歴史の中で形作られてきた人々の暮らしや，伝統産業，伝統文化，郷土料理，民話，歴史的町並みなどを取り上げ，我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深め，伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。➡p.215〜216,220,227,229,248〜251など●掲載している文化財のうち，重要文化財に指定されているものや世界遺産にはマーク（　　 ）を付し，文化財を通して我が国の伝統や文化に対する理解と愛情を深められるようにしました。➡p.227　など**重****世****11** |
| ④我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。 | ●我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状やその地理的背景について本文やコラムで扱い，我が国の領域について正しく理解し，解決に向けての意識が高められるようにしました。➡p.24〜27 |
| ⑤公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画する態度を養うように配慮されているか。 | ●第3編第3章「日本の諸地域」では，各地方の学習の終わりに，それまで学習してきた内容と身近な地域で見られる事象とを関連付けて考える活動を設けることで，身近な地域の特色や課題に対する関心を高められるようにしました。➡p.194,206,218,230など●第3編第4章「地域の在り方」では，地理学習のまとめとして，それまで学習してきたことを振り返りながら，「身近な地域をより良くするためにはどうしたらよいか」という視点から，地域の課題や変容に注目したり，地域の将来像を提案したりする活動を充実させることで，主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。➡p.270〜281 |
| ⑥持続可能な開発目標（SDGs）といった，持続可能な社会の実現に向けた，現代的な諸課題に十分に対応しているか。 | ●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き，現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。➡巻頭3〜p.1●世界の諸地域の学習の導入や，「地域の在り方」の学習で「持続可能な開発目標（SDGs）」を取り上げ，現代的な諸課題を理解し，課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。➡p.55,270●（環境・エネルギー）環境破壊の事例や地球環境問題，様々な発電方法の特徴や課題を取り上げる多様な教材を掲載し，環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。➡p.80〜81,114〜121,134,170〜171,180〜181,208,232●（人権・平和）イスラム教と人々の暮らしや，アイヌ民族の文化の歴史的背景などを取り上げ，人権や国際平和についての意識を高められるようにしました。➡p.70,244,268など●（伝統・文化）世界各地で営まれる宗教と関わりの深い生活などを取り上げたり，宗教分布図を読み取らせたりすることで，宗教についての理解を深められるようにしました。➡p.50〜51,59,77など●（防災・安全）東日本大震災をはじめとする様々な自然災害の地理的要因や，復旧・復興，防災・減災に向けた取り組みを取り上げ，防災・安全への主体的な意識や態度を養えるようにしました。➡p.164〜167,189,215,253など●（情報・技術）アフリカをはじめ，地球規模で整備が進んでいる交通・通信網などについて取り上げ，情報や技術に関する課題と展望について，考察が深まるようにしました。➡p.96,196など●（少子高齢化）急激に進む日本の少子高齢化の現状や，町おこし・村おこしの例を取り上げることで，課題に向き合う意識や態度を養えるようにしました。➡p.168〜169,204〜205,216〜217 |
| ⑦小学校の学習との系統的な接続を図るように配慮されているか。 | ●各章の章扉には，小学校で学習した写真や用語を掲載してマーク（　）等で示し，小学校の学習を振り返る場面を設け，小学校での4年間の社会科学習に，中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるようにしました。➡p.6,33,54,140,156,183**小** |
| ⑧カリキュラム・マネジメントの観点から，他分野・他教科の学習内容と関連させた学習ができるように配慮されているか。 | ●「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関する特設ページ（「もっと地理」）を3分野共通で掲載することで，3分野を関連させた学習を展開できるようにしました。➡p.96,166〜167,180〜181,244,268など●他分野と共通で掲載している資料や特設ページには，「分野関連マーク」を付すことで，並行して学習する歴史的分野や第3学年で学習する公民的分野を意識した多面的・多角的な学習が展開できるようにしました。➡p.51　,77　,168　,201　,270　など**7****5****4****1****7**●他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付し，二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで，学習を多面的に深められるようにしました。➡p.23,35,76,150,162など |
| 構成・配列 | ①教材の配列は，学習しやすいように配慮されているか。 | ●「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し，学習の流れを捉えやすくしました。➡（第3編2章の例）導入部：p.156〜157→展開部：p.158〜177→終結部：p.178〜179●基礎的・基本的な地理的技能の確実な習得を図る「スキル・アップ」は，生徒の発達段階をふまえて系統的に配置し，技能を段階的に高められるようにしました。➡p.13,15,16,17,18,23,30,34,37,51,61,63,65,105など |
| ②導入やまとめ，問題提起に必要な教材，学習の整理のための配慮などは，十分になされているか。 | ●❶単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入（の活動）」→❷1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→❸「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し，課題解決的な学習を進めやすくしました。また，「探究課題」をスムーズに解決するための問いである「探究のステップ」も設けています。➡（2編1章の例）❶導入の活動：p.33〜35→❷問いの追究：p.36〜51→❸まとめの活動：p.52〜53●調査単元以外では，学習の最後に「基礎・基本のまとめ」を設け，地図などを使って学習内容を整理することで，基礎・基本の定着を図れるようにしました。➡p.32,53,138,182,269など●各見開きの最初に，生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し，「読み取る」コーナーや「考える」コーナーを設けることで，学習にスムーズに入れるようにしました。 |
| ③写真・図表その他の資料が適切に用意され，学習効果を高めるように配慮されているか。 | ●世界の各州の導入部分にイラストを使用した地図や自然や生活に関する写真を掲載し，日本の各地方の導入部分には各地方の「探究課題」に関連した写真を掲載することで，生徒が学習する地域のイメージを持てるようにしました。➡p.56〜57,100〜101,245,257など●本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し，資料に付した「図番号」を本文にも付すことで，効果的に学習できるようにしました。●本文の理解を深める「地理にアクセス」や，地域で生活する人の様子を取り上げる「インタビューコラム」を随所に掲載し，生徒が興味・関心を高められるようにしました。➡p.9,21,25,37,39,41,81,107,189,193,217,238など●ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」を用意し，該当箇所には「Dマーク」を付すことで，学習効果が高まるようにしています。➡p.9,16,24,37,55,144など |
| 印刷・造本 | ①造本面で，生徒が使いやすい工夫がなされているか。 | ●視覚的効果が高い幅広の判型（AB判）を用い，資料を豊富に大きく掲載するとともに，写真や文字の鮮明さに留意し，見やすく印象的な紙面構成にしました。また，使用している文字の大きさや書体は適切で，読みやすいものになっています。●針金とじを用いて製本するなど，造本は堅牢で，長期間の使用にも十分耐えうるものになっています。●本文用紙は，塗料を工夫することなどで，不透明度を保ったまま紙をさらに薄くすることにより，約3.1％軽量化しました。 |
| ②特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。 | ●不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用し，本文ページからはキャラクターをなくすことで，学習内容に集中できるようにしました。●紙面全体で，色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や，色以外の情報で見分けやすいデザインを採用しました。●教科書で使用しているすべての文字に，ユニバーサルデザインフォントを使用しました。●本文のふりがなや参照ページは，可読性を確保したうえで文字濃度を抑え，本文をより読み取りやすくしました。●資料の掲載部分の背景に色を付けて，本文部分と資料部分との区別を明確にすることで，読み取りやすさを向上させました。●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し，読み取りやすいゴチック体のふりがなを採用しました。 |
| ③用紙等，環境への配慮がなされているか。 | ●用紙には，強度と発色性とをかね備えた質の高い再生紙を使用し，環境に配慮するとともに，文字や図表，写真などの資料が読み取りやすく，色映えするように工夫しています●印刷用のインキは，環境に配慮した植物油インキを使用しています。 |